

ご使用に際しては、この添付文書を必ずお読み下さい。また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

第 2 類医薬品

ウチダの漢方製剤

ウチダの 半夏瀉心湯 エキス散

ハンゲシャシントウ

ウチダの半夏瀉心湯エキス散は、漢方処方にしたいがい生薬を配合し抽出して得た水製エキスを服用しやすく細粒としたものです。



使用上の注意



してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）
次の人は服用しないこと
生後 3 ヶ月未満の乳児。



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 高齢者。
 - 今までに薬等により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。
むくみ
 - 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症 状 の 名 称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等が見られ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

- 1 ヶ月位（急性胃腸炎、二日酔、げっぷ、胸やけに服用する場合には 5 ～ 6 回）服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

用法・用量

次の 1 回量を 1 日 3 回食前または食間に服用する。

年 齢	1 回 量
大人（15 歳以上）	2 g
15 歳未満 7 歳以上	大人の量の 2/3
7 歳未満 4 歳以上	大人の量の 1/2
4 歳未満 2 歳以上	大人の量の 1/3
2 歳未満	大人の量の 1/4 以下

用法・用量に関連する注意

- 添付のサジ 1 ぱいが約 1 g です。
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- 1 歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させること。

成分・分量

本品 1 日量（6 g）中

半夏瀉心湯エキス……………2.30 g

ハンゲ……………	2.50 g
オウゴン……………	1.25 g
ニンジン……………	1.25 g
カンゾウ……………	1.25 g
タイソウ……………	1.25 g
オウレン……………	0.50 g
カンキョウ……………	1.25 g

賦形剤として乳糖水和物・パレイショデンプン、吸湿防止剤としてメタケイ酸アルミン酸 Mg を含有する。

保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること。
- 小児の手の届かない所に保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）

●お問い合わせ先

本品の内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店または下記にお願い申し上げます。

株式会社 ウチダ和漢薬 03 - 3806 - 4141

受付時間 9:00～17:30（土、日、祝日を除く）

効能・効果

体力中等度で、みぞおちがつかえた感じがあり、ときに悪心、嘔吐があり食欲不振で腹が鳴って軟便又は下痢の傾向のあるものの次の諸症：
急・慢性胃腸炎、下痢・軟便、消化不良、胃下垂、神経性胃炎、胃弱、二日酔、げっぷ、胸やけ、口内炎、神経症

本剤は生薬を原料としていますので、製品により多少色が異なることがあります。効能・効果にかわりはありません。



株式会社 ウチダ和漢薬

東京都荒川区東日暮里 4-4-10